

2023年度環境経営レポート

(対象期間: 2023年6月～2024年5月)



株式会社
繁会社

小山内組

作成日: 2024年8月

更新日:

目 次

1. 環境経営方針	P. 1
2. 組織概要	P. 2
3. 組織図	P. 3
4. 環境目標とその実績	P. 4
5. 環境経営計画、取組結果とその評価、次年度の取組内容	P. 8
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P. 12
7. 代表者による全体の評価と見直し	P. 12

2. 組織の概要

1. 名称及び代表者名

代表者 株式会社 小山内組 代表取締役 相馬 環 090-3128-8396

2. 所在地(従業員数、建屋延べ面積)

本社	青森県平川市光城5丁目58-19人	306.96m ²
車庫	青森県平川市光城5丁目58-1	85.27m ²
資材置き場	青森県平川市大光寺三村井129-1	331.21m ²

3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 花田 恵一郎 090-7326-3000
環境事務局 相馬 千佳子 090-7079-2580

4. 事業活動の内容

特定建設業

土木、建築、とび・土工、ほ装、塗装、水道施設、解体工事業

一般建設業

管工事業

5. 事業規模

生産量(工事等の件数)	39件
売上高	¥457,541,412
総従業員数	22人
延床面積	総務部 133.48m ² 施工部 173.48m ²

6. 事業年度

6月～翌年5月まで

7. 認証登録の対象組織

株式会社小山内組の全組織・全活動を対象範囲とする。

8 取組の対象期間

2023年6月から2024年5月まで

1. 環境経営方針

<環境経営理念>

当社は常に環境保全の重要性を認識し、「SDGs目標13:気候変動に具体的な対策を」に取り組み、建設活動のあらゆる面で環境に配慮した行動で社会に貢献する。

<環境保全への行動指針>

1. 環境問題は人類共通の重要課題との認識のもとに、環境保全を経営の最優先課題の一つとし、『地球にやさしい企業』をめざして、環境管理体制を作り、全社員で取り組む。
2. 環境問題を担当する部署は、環境保全活動を推進する体制の整備及び関連規定を整備し目標の設定などにより、環境関連の法令を順守し環境保全活動の推進を図ります。
3. 事業活動によって生じる環境への影響を調査・検討し、温暖化の原因となる二酸化炭素の削減や、化学物質の削減、ゴミの分別、産業廃棄物の排出量抑制など、環境に配慮した技術、資材の導入を図り継続的な環境活動の改善を図ります。
4. 従業員の環境への意識向上を図る為に教育を実施すると共に、地域社会に目を向け、幅広い観点からの環境保全活動により、環境関連の法令を順守し『低炭素社会』に貢献します。
5. 社内における環境活動の他、建設現場の省エネルギーへの多彩な取り組みのほか、地域の環境保全活動にも積極的に参加いたします。

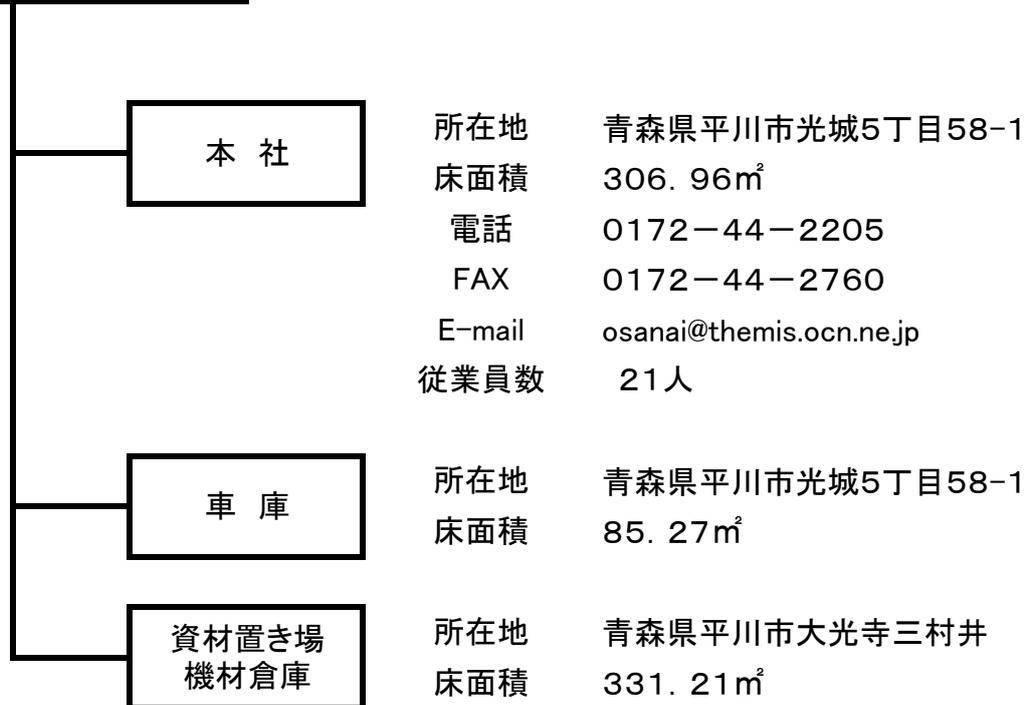
 株式会社 **小山内組**

代表取締役 相馬 環

制定日：2019年 6月 1日

3. 組織図

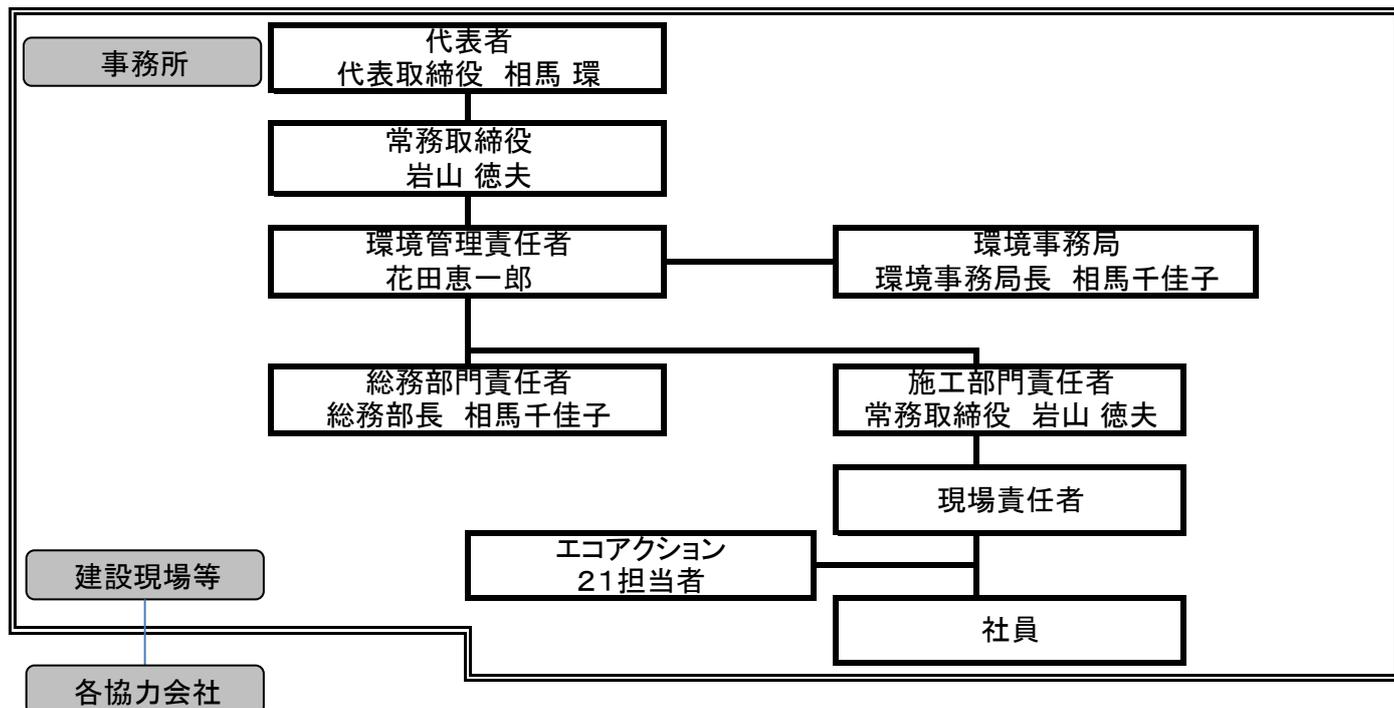
2021年6月1日現在



6. 株式会社 小山内組 EA21実施体制図
(2021年度)

作成：2018年7月17日

改定：



環境経営システム 役割・責任・権限表

職名(氏名)	役割・責任・権限
代表者(社長) 相馬 環	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境方針の作成 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 実施体制の構築 課題とチャンスの明確化
環境管理責任者 花田 恵一郎	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理。 問題点の是正、予防処置の指示・確認。 環境活動の取組状況を代表者への報告
環境事務局 相馬 千佳子	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 環境目標、環境活動計画書原案の作成。 環境活動チェック表等の実績集計。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
部門責任者および現場責任者 小山内 淳二 鎌田 悟 木村 富男 山谷 和夫 三浦 明博 佐藤 哲也	<p>所管事項について環境経営システムを実施し、維持する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境方針の部内への周知。 教育訓練の実施。 環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練の実施、記録の作成。 問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

4. 環境経営目標とその実績

4-1. 主な環境負荷の実績

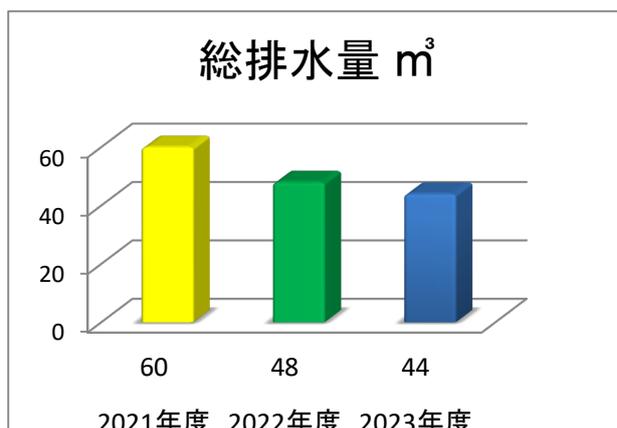
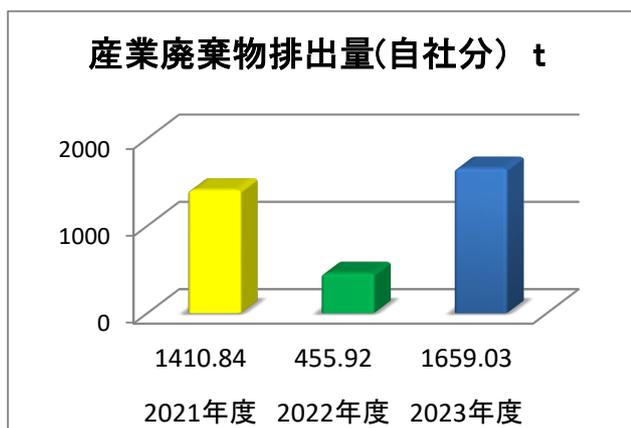
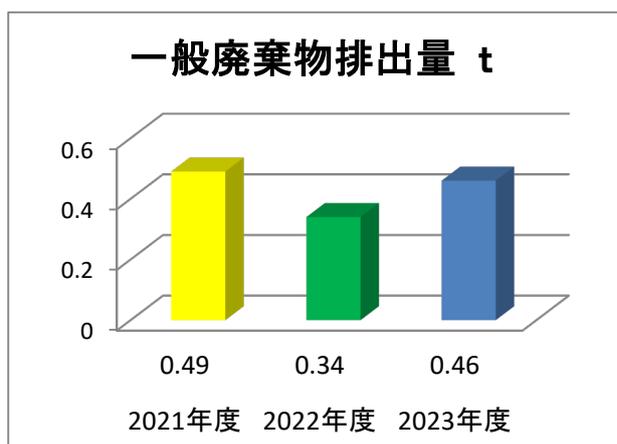
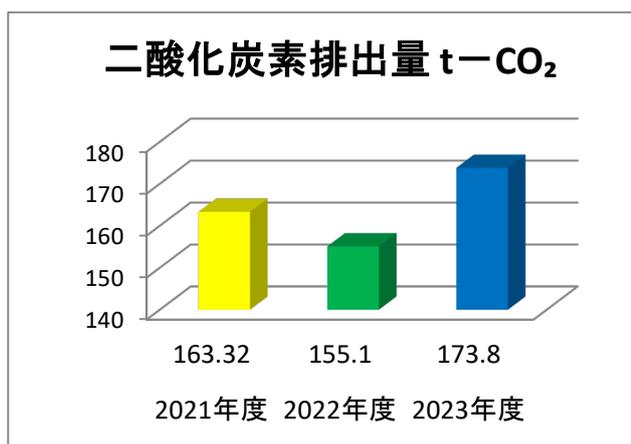
当社は主に土木工事業・建築工事業等を中心とした総合建設業に係る事業活動を行っており、環境負荷は、表1の通りです。

二酸化炭素排出量については、燃料消費によるものが主なもので、2023年度173.8t-CO₂/年です。

表1、主な環境負荷等の実績

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	t-CO ₂	163.32	155.1	173.8
一般廃棄物排出量	t	0.49	0.34	0.46
産業廃棄物排出量(自社分)	t	1410.84	455.92	1659.03
総排水量(水資源投入量)	m ³	60	48	44
化学物質使用量	kg	0	0	0
グリーン購入量(環境物品購入)	品目数	—	—	—
環境に配慮した施工	件数	12	12	12
地域貢献活動	件数	7	7	7

(注1) 化学物質の使用量については化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)において非該当となっているため0kgになります。



4-2.環境経営目標の設定

弊社では、事務所及び建設現場等において環境目標を設定し、環境負荷削減等に取り組んでいます。表2は、小山内組全体の環境経営目標を掲載しました。

表2 環境目標(全体)

コア指標	環境経営方針	環境経営目標項目	単位	基準年度	年度毎目標値 (基準年度に対する削減(増加)率)			備考
					2021年度	2022年度	2023年度	
				基準値				
二酸化炭素 排出量	省エネルギー の推進	電力の削減	削減率(%)	2020年度	1.0	1.5	2.0	
			kwh	8,416	8,332	8,290	8,248	
		灯油の削減	削減率(%)	2020年度	3	4	5	
			L	3,645.0	3,535.7	3,499.2	3,462.8	
		LPGの削減	削減率(%)	2020年度	3	4	5	
			kg	420.0	407.4	403.2	399.0	
	ガソリンの削減	削減率(%)	2020年度	3	4	5		
		L	11,760.2	11,407.4	11,289.8	11,172.2		
	軽油の削減	削減率(%)	2020年度	3	4	5		
		L	58,948.7	57,180.2	56,590.8	56,001.3		
CO ₂ 排出量の 削減	二酸化炭素排出量 の削減	削減率(%)	2020年度	3	4	5		
		t-CO ₂	193.22	187.42	185.49	183.56		
廃棄物排出量	一般廃棄物の 削減	ごみの削減	削減率(%)	2020年度	10	15	20	
			t	0.47	0.42	0.40	0.38	
	建設副産物の 再資源化の推 進	建設リサイクル率 の向上	再資源化率	2020年度	維持する			
			(%)	100				
総排水量	節水	節水	削減率(%)	2020年度	1	2	3	
			m ³	51.0	50.5	49.9	49.5	
化学物質	化学物質の管 理推進	化学物質の管理推 進	-	2020年度	化学物質については、漏洩等が 無いよう適正に管理し、定期的に 確認します。			
			kg	-				

コア指標	環境経営方針	環境経営目標項目	単位	基準年度	年度毎目標値 (基準年度に対する削減(増加)率)			備考
					2021年度	2022年度	2023年度	
				基準値				
自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する項目	環境保全に配慮した事業活動の推進	創意工夫など、自ら立案実施した創意工夫や技術力の提案	提案件数	2020年度	-	-	-	
			件数	12	15	15	15	
		環境物品等の購入・使用の推進	環境物品購入数	2017年度	製品・サービスについて可能な限り環境対応物品の購入・使用に努める			
			-	-				
地域貢献	地域貢献活動の推進	社会性など、地域社会や住民に対する貢献	増加率(%)	2020年度	-	-	-	
			件数	7	8	8	8	

購入電力の排出係数は、2019年度東北電力㈱の調整排出係数 0.519 を使用しました。

項目			排出係数
電力			0.519
灯油	0.0679	36.7	2.49193
LPG	0.0598	50.2	3.00196
ガソリン	0.0671	34.6	2.32166
軽油	0.0687	38.2	2.62434

令和1年度提出用の東北電力㈱の調整排出係数

4-3.環境経営目標の達成状況の確認・評価

今回は、2023年6月から2024年5月までの実績についての評価結果を報告します。

電気使用量、ガソリン消費量について達成することができませんでした。

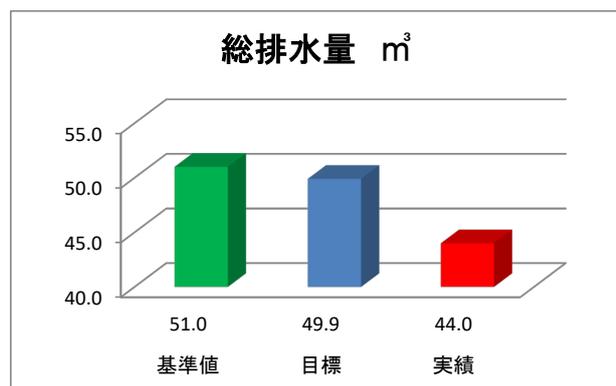
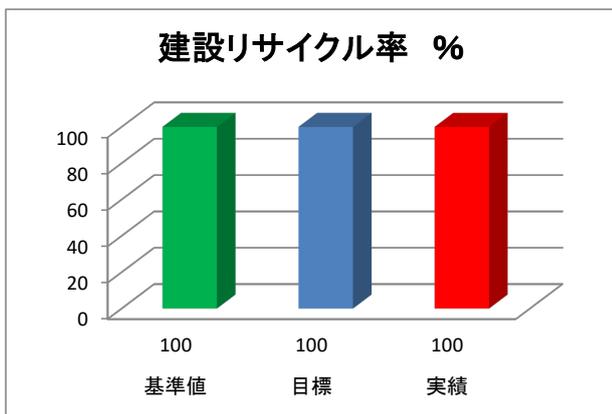
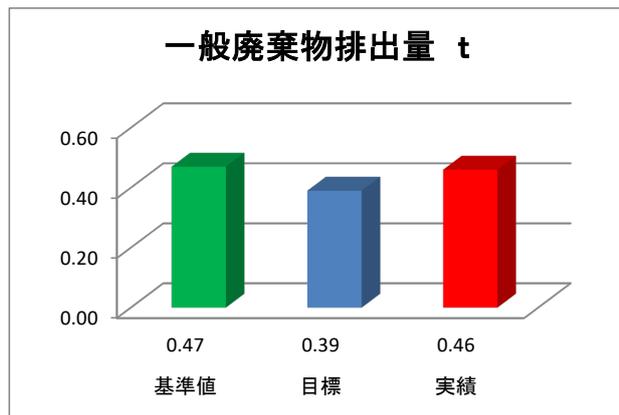
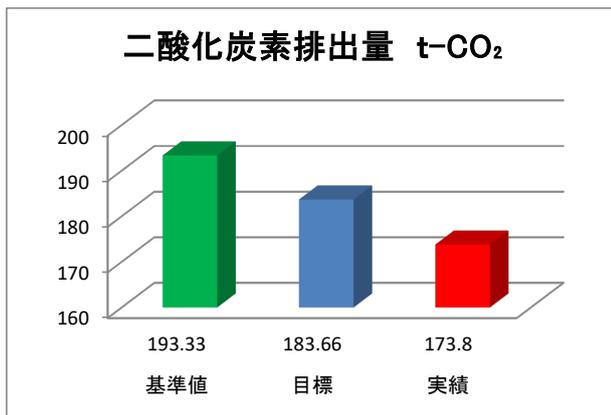
電気使用量については、猛暑の影響により、エアコンの稼働が増えたため達成できませんでした。ガソリン消費量については、受注した現場が本社から遠かったことにより走行距離が増えたため、達成することができませんでした。

ハイブリッド車の導入やエコドライブを実施し、距離が遠くてもできるだけ使用料を抑える努力をしていきたいと思います。

総合的に二酸化炭素排出量を減らすことができたので次回からも継続できるよう努力します。

表3 当該年度の環境経営目標の達成状況等(事務所+建設現場)

項目	単位	基準値 (2020年)	2023年度			環境経営 目標の 達成状況	
			削減(増加)率(%)	目標値	実績値		
1. 二酸化炭素排出量	t-CO ₂	193.33	5%削減	183.66	173.80	達成	
電力使用量	kWh	8,416.00	2%削減	8247.68	8969.00	未達成	
灯油使用量	L	3,645.00	5%削減	3462.75	5198.00	未達成	
LPG使用量	kg	420.00	5%削減	399.00	102.40	達成	
ガソリン使用量	L	11,760.20	5%削減	11172.19	12399.94	未達成	
軽油使用量	L	58948.70	5%削減	56,001.3	49467.04	達成	
2. 一般廃棄物排出量	t	0.47	15%削減	0.39	0.46	未達成	
3. 建設リサイクル率	%	100	維持する	100	100	達成	
4. 総排水量(水資源投入量)	m ³	51.0	2%削減	49.9	44.0	達成	
5. 化学物質使用量	kg	0	現状維持	0	0	達成	
6. 自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する項目	創意工夫など、自ら立案実施した創意工夫や技術力の提案	件数	12	—	15	18	達成
	環境物品等の購入・使用の推進	-	-	製品・サービスについて可能な限り環境対応物品の購入・使用に努める	-	-	適切に管理されている
7. 地域貢献活動	件数	7	—	8	8	達成	



5. 環境経営計画、取組結果とその評価、次年度の目標及び取組内容

環境経営計画については、単年度の環境経営目標に対応した具体的な取組の内容(達成手段)を表4の通り作成した。なお、それぞれの計画の責任者と担当者及びスケジュールを定め確実な実行に努めております。エコアクション21に取り組みに当たり、給油と稼働時間の管理表を重機オペレーターに管理させ、省エネ・エコ運転への意識の向上を促した結果、燃料の使用量が大幅に削減でき、今後も効果が期待できます。また地域社会においても、ゴミ拾い・草刈り等の活動を行い貢献しました。

表4 主な環境経営計画の内容

活動項目		取組内容	評価	次年度	次年度の目標 取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力のCO2削減	①事務室等の電気は必要時以外消灯する	○	継続	次年度は、ハイブリッド車の導入に注力し、中長期の環境経営活動計画として計画している事務所のLED化、バックホウ1台を更新する等の具体化を図る。 ・次年度の目標 単位: kgCO ₂ 基準値: 175,737 削減率: 1% 目標値: 173,746
		②OA機器の電源をエコ設定にする	○	継続	
		③冷暖房器具をエコ運転にし、設定温度に気を付ける	○	継続	
		④クールビズ、ウォームビズを積極的に実施する	○	継続	
	車両・建設機械等の燃料のCO2削減	①エコドライブ励行の声掛け(エコドライブ10徹底)	○	継続	
		②フィルターの掃除をこまめに行う	○	継続	
		③過負荷にならないような運転を行う	○	継続	
		③過積載の防止の教育、監視を行う	○	継続	
	灯油・LPG等のCO2削減	①暖房温度(暖房18℃程度)の設定管理を徹底する	○	継続	
		②湯沸かし器のガス量を少なめに設定する	○	継続	
		③ウォームビズを積極的に実施している	○	継続	
	廃棄物排出量削減	廃棄物の発生抑制	①3Rを徹底し、廃棄物の削減に努めている	○	
②過剰梱包を事前に断っている			○	継続	
③分別を徹底している			○	継続	
リサイクルの促進		①現場から発生する廃棄物は再生資源利用計画書を作成し、適正に処理している。	○	継続	
		②ペットボトル・空き缶・段ボール・小型家電は、再資源化施設に持ち込んでいる	○	継続	
		③建設資材等の転用を行っている	○	継続	
産業廃棄物等の適正処理		①廃棄物管理票をもとに廃棄物の適正な処理を行っている。	○	継続	
		②産業廃棄物施設の確認を行っている	○	継続	
		③発注数量の精査を行い、残余資材の廃棄を抑制している	○	継続	
水使用量の削減	①日常的な節水の励行	○	継続	節水は定着しているので、維持継続に努める ・次年度の目標 (水使用量) 基準値: 44m ³	
	②1回のトイレで何回も流すのをやめる	○	継続		
	③洗浄ホースのストップノズル利用の確認	○	継続		
	④水道配管から漏水を定期的な確認	○	継続		

活動項目	取組内容	評価	次年度	次年度の目標 取組内容
化学物質の管理推進	①中和剤、洗浄剤等の使用量の把握	○	継続	化学物質の使用がある場合は、適正に管理することとする。
	②SDSによるPRTR物質の把握	○	継続	
	③保管容器の適切な管理の実施	○	継続	
	④保管場所の表示	○	継続	
アスベスト廃棄物の 適正処理	①特別管理産業廃棄物として厳密に管理している。	○	継続	解体工事がある場合は適用条件を確認し適正に対応する。
	②飛散性アスベスト廃棄物は、固型化、水和、二重梱包など、飛散防止措置を講じてい	○	継続	
	③解体工事や改修工事を行う際には、事前調査でアスベストの有無を特定し、その結果を報告している。	○	継続	
	④最終処分場は、都道府県知事または廃棄物処理法で定める政令市の市長の許可を得ていることを確認している。	○	継続	
・自らが施工・販売・提供 する製品、設備、土木 建築物等の環境性能の 向上及びサービスの改 善	①稼働効率の改善(5S活動等)	○	継続	新しい技術を取り入れ、環境改善や省力化に取り組んでいく
	②設備・機器の設定確認・変更の実施	○	継続	
	③待機時間の確認・見直し	○	継続	
	④騒音・振動等環境に配慮した施工	○	継続	
	⑤鉄板敷設など土砂飛散防止、	○	継続	
	⑥ダンプの泥等による公道の汚染防止	○	継続	
	⑧定期点検整備の実施・確認	○	継続	
	⑨設備・機器の保全管理の徹底	○	継続	
	⑩ 環境負荷の少ない施工技術や創意工夫の	○	継続	
	・環境コミュニケーション ・社会貢献 ・その他	①地域の自然環境との調和に配慮し、生態系や景観の保全について指向している	○	
②地元の自然資源の積極的な利用を図り、地産地消を推進している		○	継続	
③建設現場等周辺の生物多様性保全の取組を、地域と協働して取り組んでいる		○	継続	
④建設現場等及び周辺の自然環境の把握をしている		○	継続	
⑤地域のボランティア活動等に積極的に参加し、協力や支援を行っている		○	継続	

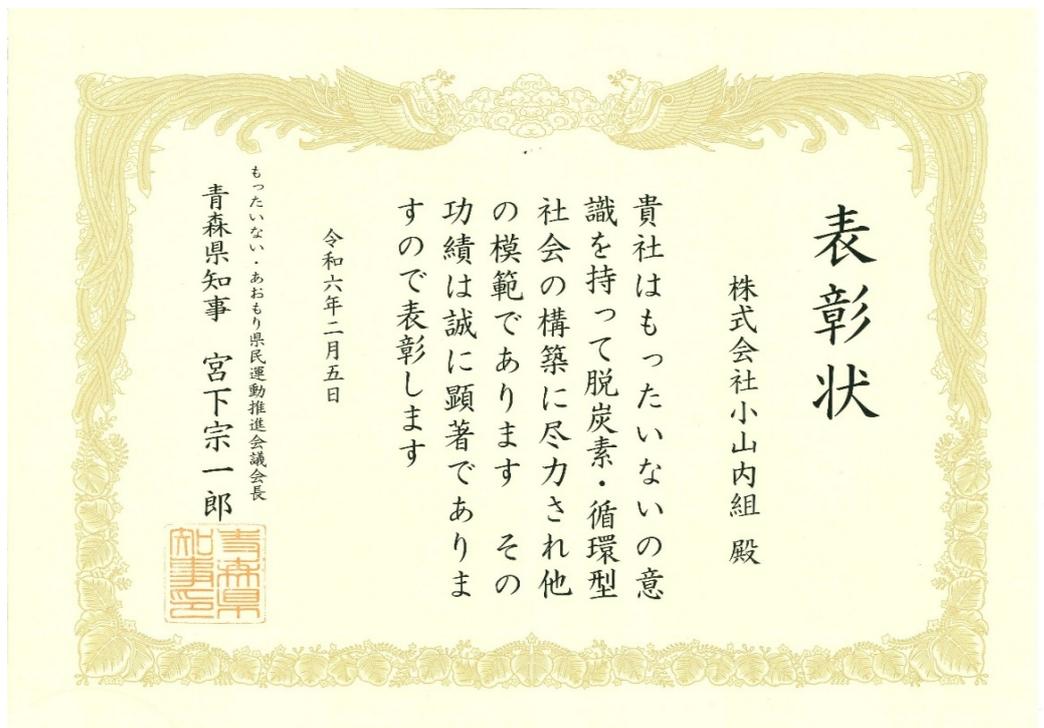
○:評価出来る、△:まずまず評価できる、×:評価できない

環境経営活動の状況

2024年2月5日 もったいない・あおり賞受賞

もったいない・あおり賞とは

もったいない・あおり県民運動の一環として、事業者、学校・団体のうち、省エネルギーやごみの減量リサイクルなど、環境に配慮した優れた取組を行った事業者、学校・団体を表彰するもの。



6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

本年度も住民等からの苦情はありませんでした。今後も苦情がないように継続していきます。また、過去4年間、関係機関からの違反等の指摘、苦情、訴訟については問題ありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

電気の使用量について、猛暑の影響や冬季の暖房を灯油ストーブからエアコンに切り替えたことが要因となっています。環境の変化に伴うことであって、改善の必要はないと考えています。

会社から遠い現場を受注したり、災害対応において緊急工事を行うことがあり、ガソリンの使用量が増えましたが、これは受注傾向に伴うものであって、燃費の管理など積極的に行っているため問題視はしていません。青森県で取り組んでいる「もったいない・あおもり運動」において受賞するなど、実績が認められてきていることもあり、大変励みになります。今やっている活動を継続し、エコアクション活動に貢献したいと考えています。